

# 田原市

## まち・ひと・しごと創生

### 総合戦略

具体的施策・事業

#### アクションプラン集（平成31年3月）

- 総合戦略の取組期間（平成27年度～平成31年度）において集中的に取り組む「新規性」「独自性」の高い施策を中心に記載
- アクションプラン集（平成30年度）に平成31年4月より実施する具体的事業等を追加掲載
- 施策ごとに重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicators）を設定



田原市サーフタウン構想（将来イメージ）



道の駅あかばねロコステーションのフラワーマーケット

平成31年3月

愛知県 田原市

---

# 目次

---

## 1 雇用の創出・就労促進 ..... 1

(具体的施策)

- 1-1 創業支援 … 1
- 1-2 企業立地の推進・三河港の振興 … 3
- 1-3 農業後継者・新規就農者の確保・育成 … 4
- 1-4 農畜水産業強化 … 5
- 1-5 観光地域づくり … 7
- 1-6 道の駅の高質化 … 8
- 1-7 サンテパークたはらの新たな魅力づくり … 10

## 2 定住・移住促進 ..... 11

(具体的施策)

- 2-1 若者・臨海企業従事者の市内定着・定住促進 … 11
- 2-2 サーファー等の移住促進 … 12
- 2-3 空き家活用推進 … 15
- 2-4(3-4) ふるさと学習の充実 … 16

## 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 ..... 17

(具体的施策)

- 3-1 結婚・出産支援 … 17
- 3-2 医療体制の充実(産婦人科・小児科) … 18
- 3-3 子育て支援 … 19
- 3-4 ふるさと学習の充実【再掲】 … 21

## 4 地域の魅力・住み良さの向上 ..... 22

(具体的施策)

- 4-1 市街地の活性化 … 22
- 4-2 幹線アクセス向上 … 24
- 4-3 公共交通ネットワーク確保・維持 … 25
- 4-4 戦略的なシティセールス … 26
- 4-5 医療体制の充実(地域医療) … 27
- 4-6 健康都市推進 … 28
- 4-7 地域包括ケアシステムの構築 … 29
- 4-8 広域連携による持続可能な地域づくり … 30

## （具体的施策）

### 1-1 創業支援

- ◆商工会、地元金融機関、日本政策金融公庫等とともに「田原創業支援ネットワーク」を組織することで、支援を必要とする創業者を総合的にサポートし、創業後においても事業の安定経営・成長に向け、きめ細やかな支援を行う。
- ◆中心市街地の空き店舗をモデル的に借り上げ改修し、新規出店希望者に戦略的に賃貸する。
- ◆市内空き店舗を活用して新規出店を図ろうとする方へ改装等経費の一部を補助する。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
創業者数※	—	34 件/年

※田原市創業支援事業計画に定める創業支援事業ごとの目標数の合計（延べ人数）

### 【具体的事業】

#### ○創業支援資金利子補給制度

国公資金等の創業に関する融資を受け、市内で事業を開始しようとする方又は開始した方に対して利子補給を行う。

#### ○出店促進事業（～平成 28 年度）

#### ○チャレンジ支援事業（～平成 28 年度）

#### ○中小企業者総合支援事業（平成 29 年度～）

市内の空き店舗を活用して新たに商業を営もうとする方や市内で創業・第二創業する方に対し、改装費や備品購入費などの一部を助成する。

#### ○空き店舗活用モデルリノベーション事業

空き店舗を借り上げてモデル改修し、新規出店者に賃貸することにより、中心市街地の商業全体への波及効果を促す。

#### ○起業チャレンジ促進事業

若手起業家を対象に、試行的に出店できる店舗を活用し、賃貸する。

#### ○産業人材育成事業

新規創業者などの人材育成を行うことで、商業の活性化及び賑わいの創出を図る。

#### ○実践型地域雇用創造事業

地域資源を活用した新商品の開発や体験型観光プログラムの開発等により、地域内に新たな雇用機会を創出する。



実践型地域雇用創造事業  
成果物公開セミナー

## 〈地域再生計画〉

### 実践型地域雇用創造事業（平成 29 年度～平成 31 年度）

#### 渥美半島暮らしを体感！

#### 大地の恵と海の恵、人を紡ぐ「観光地域づくり」による雇用創出プロジェクト

「農業分野」「漁業分野」「観光分野」を重点分野に設定し、各重点分野が連携した観光地域づくりを担う人材育成のためのセミナーや、地域資源を活用した6次産業化新商品の開発、新しい体験型観光プログラムの開発等を行い、地域産業の裾野を広げ、雇用機会の拡大を図る。

- ・雇用拡大メニュー（事業主向け）

地域資源を活用した新商品開発セミナー

観光事業参入セミナー 等

- ・人材育成メニュー（地域求職者向け）

食品加工技術養成セミナー

農商工観連携創業セミナー 等

- ・就職促進メニュー

就職面接会

情報発信事業

- ・雇用創出実践メニュー

6次産業化による渥美半島の新しい商品開発事業

渥美半島暮らしを体感する新しい体験型観光プログラム開発事業



野菜収穫体験



花の加工商品（ハーバリウム）

## 1-2 企業立地の推進・三河港の振興

- ◆積極的な企業訪問や各種誘致イベントを実施し、企業の誘致に努める。
- ◆次世代エネルギーを見据えた関連企業の誘致・集積に努めることで、新ビジネス・雇用の創出を進める。
- ◆三河港の利用を促進するポートセールス活動を通じ、完成自動車の輸出入の拡大や新規コンテナ貨物の獲得、関連企業の誘致に努める。
- ◆関係団体との連携、協働により、国及び愛知県に対して要望活動などを実施することにより、重要港湾三河港および背後圏の整備促進を図り、立地企業にとって利便性が高く、安心して操業できる環境整備に努める。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H27）	目標値（H31）
臨海部における立地企業数	70社	増加

### 【具体的事業】

#### ○企業誘致活動に対する具現策の取組

- ・企業訪問による企業立地動向の情報収集及び情報発信
- ・関係機関との協働による企業立地等に関する情報収集及び情報交換
- ・企業との連携による産業展・出展等新たなビジネスマッチングを創出するとともに、分譲地情報の発信と立地動向の情報を収集

#### ○新規立地企業や立地企業の拡張事業に対する具現策の取組

- ・企業立地奨励金制度の拡充及び新規立地誘導制度による立地支援
- ・田原臨海企業懇話会の企業防災活動、環境美化活動、雇用促進事業の開催並びに幹線道路要望活動等の実施

#### ○三河港及び田原公共ふ頭の整備推進

- ・三河港振興会と連携した国内外のポートセールス活動
- ・輸入完成自動車ヤードの拡大促進
- ・田原港の整備（田原公共ふ頭－10m以上の水深化ほか）と背後地利用の促進



田原臨海部企業分譲地



三河港（コンテナターミナル）

## 1-3 農業後継者・新規就農者の確保・育成

- ◆田原市で育ち学んだ農業後継者の確保・育成を図るとともに、市内で新たに農業に取り組もうとする就農希望者を受け入れる。
- ◆担い手農家への農地・園芸施設の集積を効率的に進める。
- ◆滞在型農業体験を希望する方を市外から募集することで、新規就農者を発掘する。さらに、滞在型農業体験の場にて独身男女の交流の場を提供することで、結婚による定住促進を図る。
- ◆全国トップクラスの農業産出額を誇る豊橋田原地域における、将来の農業を担う次世代の農業人材を育成する教育機関の設置に向け検討する。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
新規就農者数	16人/年	30人/年

資料：愛知県東三河農林水産事務所田原農業改良普及課調べ

### 【具体的事業】

#### ○新規就農者の受け入れ対策

- ・新規就農希望者に農業技術を指導する法人や農業経営体など研修先の確保に努めるとともに、農家受入型研修に取り組む。
- ・技術を習得するための法人、企業的経営体等の研修先の確保に努める。
- ・農地バンク事業等を活用し、就農者のための農地・施設の情報提供を行う。
- ・県農業改良普及課と連携し、農地・新規就農資金・経営品目等についての相談を効率的に行う。

#### ○定年退職者等の就農支援としての農業セミナーの充実

受講者が産直、市場、JA等へ出荷できるような作物を生産できるよう技術指導等を行う。

#### ○農地・園芸施設バンク事業

規模縮小・離農農家、農地の相続人で農業経営を行わない方への登録の働きかけ・周知を行う。

また、規模拡大を図る農家へは登録物件について詳細情報を発信し、農地等の流動化を図る。

#### ○新規就農希望者の誘致活動

市外から新規就農希望者を誘致するため、誘致イベントに参加する。

#### ○農業高等教育機関調査検討【平成28年度実施 地方創生加速化事業】



農業セミナー（野菜コース）



農業セミナー（いちじくコース）

## 1-4 農畜水産業強化

- ◆国内外でのテストマーケティングを通じた販路拡大、消費拡大等に取り組み、地域の農畜水産業の強化を図る。
- ◆農業・食品産業技術総合研究機構花き研究所、県農業試験場との連携による共同研究（実証試験・展示試験）等を充実することで、花き産業の競争力強化を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
国内外商談件数	—	10件/年

### 【具体的事業】

- 農畜産物等海外販路拡大支援【平成27年度実施 地方創生先行型事業】【平成29・30年度実施 地方創生推進事業】【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】  
田原市内の農畜産物や加工品の販路拡大をASEAN諸国のバイヤー向けに実施する。現地バイヤーとの商談を通して現地での販路開拓の可能性を探り、農畜産物等の流通を目指す。
- 首都圏での花き販売拡大・販売促進【平成29・30年度実施 地方創生推進事業】【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】  
田原市産の花き販売拡大のため、首都圏の花き小売店での販売プロモーションや花きバイヤー産地見学ツアーを実施する。
- 日本一花を贈るまちの推進【平成29・30年度実施 地方創生推進事業】【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】  
田原市で栽培されるバラエティ豊かな花を活かし、「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちへ」をキャッチコピーに、花を贈るまちづくりを推進することで、花の消費拡大につなげる。  
・首都圏での花き販売
- 日本一の花き産業に重点を置いたビジネスモデルの確立【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】  
「花」を活用した加工・販売・流通・6次産業化などの新たなビジネスを創出する。
- 日本一の土づくり推進  
安心安全ブランドを守るため、環境保全型農業における土づくりを行う。
- 農畜水産物による6次産業化・農商工連携の推進【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】
- 漁業経営の活性化（水産物の6次産業化・ブランド化）
- 花き研究所、県農業試験場との連携による共同研究（実証試験・展示試験）等を充実



農畜産物等海外販路拡大（マレーシア）



首都圏の花き小売店での販売プロモーション

## 〈地域再生計画〉

### 日本一の花き産業に重点を置いたビジネスモデルの確立（平成 29 年度～平成 31 年度）

「花」を活用した加工・販売・流通・6次産業化などの新たなビジネスを創出することにより、田原市の花き産業・施設園芸をさらに成長させ、持続的な花き生産に繋げる。また、花き産業・施設園芸の担い手、高度人材の育成を図る。

- ・ビジネスモデル基礎調査・（仮称）フラワービジネス準備会開催【平成 29 年度実施 地方創生推進事業】

- ・ビジネスモデル事業化調査【平成 30 年度実施 地方創生推進事業】

- ・農畜産物等海外販路拡大支援

【平成 29・30 年度実施 地方創生推進事業】【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

- ・首都圏での花き販売拡大・販売促進

【平成 29・30 年度実施 地方創生推進事業】【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

- ・花きの利用促進や啓発等

【平成 29・30 年度実施 地方創生推進事業】【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

今月の渥美半島の花展示・フラワーバレンタイン推進・ビクトリーブーケ活用・イベント開催時の花育教室・花を活用したシティセールス推進

- ・花き販売拠点の整備【平成 30 年度実施 地方創生推進事業】

あかばねロコステーションの高質化を実施し「フラワービジネスの発信拠点」づくりを行う。

【整備内容】低温室・温室の整備、加工用乾燥機の設置

- ・あかばねロコステーション用花水器作製【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】



フラワーバレンタイン

## 1-5 観光地域づくり

- ◆伊良湖岬、太平洋ロングビーチなどの観光資源を有する本市が観光先として国内外の旅行者から選ばれるよう、観光事業者等の人材育成、受け入れ環境の整備充実を図る。
- ◆一体的な観光戦略の展開である田原版DMO（官民協働型観光推進体制）の構築に向け、観光ビューローの組織強化、観光団体等との連携強化を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H25）	目標値（H31）
宿泊延客数	27.7万人	29万人（年1%増）

### 【具体的事業】

#### ○観光拠点の魅力向上

- ・伊良湖岬周辺の観光魅力向上
- ・伊良湖地区の温泉開発
- ・太平洋ロングビーチをはじめとするサーフスポットの整備
- ・菜の花ガーデンの活用



「たはら巡り～な」体験

#### ○自転車活用環境整備

- ・レンタサイクルの整備【平成27年度実施 地方創生先行型事業】
- ・サイクルマップ作成【平成27年度実施 地方創生先行型事業】
- ・道の駅等へのサイクルラック設置【平成27年度実施 地方創生先行型事業】
- ・サイクルラック設置協力店募集
- ・シェアサイクル事業【平成30年度実施 地方創生推進事業】
- ・レンタサイクルGPSシステム導入

#### ○観光客受け入れ環境整備

- ・観光地看板等管理台帳・データベース作成【平成27年度実施 地方創生先行型事業】
- ・観光案内サイン計画策定・観光案内看板整備
- ・観光まちづくり大学【平成27年度実施 地方創生先行型事業】【平成28・29・30年度実施 地方創生推進事業】
- ・観光地域づくり実践塾【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】
- ・観光ガイドブック作成【平成27年度実施 地方創生先行型事業】
- ・景観伐採業務 ・ビュースポット整備 ・無線LAN整備工事
- ・観光体験博覧会「たはら巡り～な」運営【平成30年度実施 地方創生推進事業】【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】
- ・体験型観光を軸においた観光に関する計画策定・観光資源発掘調査【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】
- ・田原祭り活用 ・田原市内宿泊費助成事業（合宿誘致）

#### ○インバウンド誘致

- ・海外旅行者招聘事業 ・現地セールス事業
- ・受け入れ体制整備（多言語対応アプリ開発・外国人対応観光案内所の整備）

#### ○広域連携による観光推進

- ・東三河広域観光・鳥羽伊良湖広域観光・GOGO三河湾推進・昇龍道

## 1-6 道の駅の高質化

- ◆市内の3道の駅の情報発信機能の向上並びに観光施設との連携を図ることで、市内の様々な観光施設への送客を図るとともに、地域資源を活用して各道の駅の特徴を打ち出すことで、ものづくりと6次産業化による地域雇用の創出、地域産業の振興へと結びつける。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
道の駅利用者数（市内の3道の駅）	153.6万人	180万人
（道の駅田原めっくんはうす）	62.1万人	100万人

資料：愛知県観光レクリエーション利用者統計（2014）

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H27）	目標値（H32）
道の駅田原めっくんはうす売上額	6.4億円	10億円

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H28）	目標値（H32）
開発した6次産業商品売上額	—	1,000万円

### 【具体的事業】

#### ○国土交通省の重点道の駅候補に選定されている「田原めっくんはうす」の整備

市の玄関口にあたる立地を活かし、半島観光のワンストップ窓口・プラットホームとして、道路利用者やインバウンドも含めた観光客に対する市全体の観光情報発信及び環境整備（観光案内所、JNTO認定所）を図る。

- ・6次産業加工施設運営戦略策定【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】



田原観光情報サービスセンター  
（道の駅田原めっくんはうす）



産直コーナー

## 〈地域再生計画〉

### 渥美半島をもっと元気に！「日本一の農業×観光」拠点づくり事業(平成28年度～平成29年度)

【平成28・29年度実施 地方創生拠点整備交付金事業】

道の駅田原めつくんはうすのリニューアルに合わせ、農業産出額日本一という資源を最大限に活かすため、6次産業加工施設を設置するとともに、地域産品の流通拡大と高付加価値化を行う。また、田原市のゲートウェイとして外国人観光客対応も含めた総合観光案内所を設置し、利用環境の向上を図る。

### 「道の駅田原めつくんはうす」のリニューアル



リニューアルされた店内①



リニューアルされた店内②

### ○道の駅あかばねロコステーション整備

- ・花き販売拠点の整備【平成30年度実施 地方創生推進事業】
- ・ユニバーサルデザインへの対応

### ○道の駅伊良湖クリスタルポルト整備

- ・ユニバーサルデザインへの対応

## 1-7 サンテパークたはらの新たな魅力づくり

- ◆田原市の農業・観光の交流拠点としての役割を担うため、農業者等の創意工夫と地域の特性を十分に反映した新たな魅力づくりに取り組む。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
サンテパークたはら利用者数	49.3万人	50万人

### 【具体的事業】

#### ○基本構想・計画の策定

施設の老朽化や来園者の安全を確保するための課題を解決し、滞在型施設として魅力ある農業・農村を創造する拠点としての基本構想・計画を策定する。

#### ○体験教室・収穫体験の充実や既存施設の有効活用

体験教室・収穫体験などのイベントを効果的に実施することにより、市民の憩いの場としての定着や観光施設としての集客向上を図る。また、既存の体験工房、サンテドーム等を有効活用することで、地域農業の技術、情報及び研修の場を提供する。

#### ○近隣施設との交流連携

近隣施設である「こども未来館ここにこ（豊橋市）」「赤塚山公園ぎょぎょランド（豊川市）」とイベント等を通じて交流連携することで、新たな集客を図る。



収穫体験



イベント（JAまつり）



サンテパークたはら



サラダ館

## （具体的施策）

### 2-1 若者・臨海企業従事者の市内定着・定住促進

- ◆若者・子育て世帯の市内定着・定住を促すため、新たな支援制度を創設する。
- ◆臨海企業に勤める従業員の田原市内への定住促進を図るため、居住先候補地となる市街地の利便性や居住基盤を整える。
- ◆市内で学んでいる高校生や市外に進学している大学生に対し、関係機関と連携して地元の優良企業など地域情報を積極的に提供する。
- ◆農村への田園回帰を希望する若者の定住促進を図るため、身近に豊富な自然がある住環境の魅力を発信する。
- ◆東三河地域の各主体が実施する産業人材育成事業を効果的に連携させるとともに、地域産業を支える人材を地域外から呼び込む取組を推進する。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
若い世代（0歳～39歳）の市外からの転入者数	1,546人	増加

資料：市市民課調べ

※異動日：平成26年4月1日～平成27年3月31日 異動事由：転入 条件：異動日において39歳以下

#### 【具体的事業】

#### ○若者・子育て世帯の定住・移住を促す住宅取得支援

市内に住宅を建築して定住する若者・子育て世帯に対して建築費用の一部を補助する。

#### ○若者・臨海企業従事者の市内定着・定住促進

- ・ニーズに応じた住宅供給手法の検討
- ・住宅供給推進事業
- ・定住・移住ウェルカムガイド等作成

【平成29・30年度実施 地方創生推進事業】【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】

#### ○産業人材育成事業の活性化

「社会人キャリアアップ連携協議会」が一元化を進めている人材育成プログラムの情報等を共有し有効活用することで、新規講座の開発をはじめ、産業人材育成事業の連携・充実を推進する。

#### ○UIJターン等による産業人材の確保

東三河のブランドイメージ確立や東三河の情報発信の取組と連携させながら、UIJターン及び交流居住の取組を進め、産業人材を確保する。

地域資源を活用した起業支援、女性が活躍できる場としての産業創出の支援や、「ふるさと」に対する愛着や誇りを高める施策を推進する。



## 2-2 サーファー等の移住促進

- ◆サーフィン関係団体との連携を強化し、「サーフタウン」としての魅力を発信することで、海辺のライフスタイルをイメージさせ移住促進を図る。
- ◆全国から集まるサーファー等の移住環境の整備、着地型観光業の育成を図る。
- ◆サーフィン世界大会等の誘致に努め、地域の活性化を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H27）	目標値（H31）
サーファー等の移住数（累計）	－ 人	30 人/5 カ年

### 【具体的事業】

#### ○サーフタウン構想実現

ソフト・ハード両面からサーフィンに関連するアメニティ向上を図り、サーファーにとって魅力あるライフスタイルを実現できる空間としての訴求力を高める。

ファーストステップとして、①サーファーニーズの調査、②サーフィン環境の向上、③サーフタウンのイメージ発信強化、④ビッグイベントの誘致による連携体制の確立等を図る。

セカンドステップとして、⑤地域コミュニティとの合意形成、⑥移住希望者への居住・雇用の情報提供及び環境整備等を目指す。

##### ①サーファーニーズの調査

- ・サーフタウンとしての諸条件の整理と具体的施策をまとめるため、サーファー等へのアンケート・ヒアリング調査を実施【平成 28 年度実施 地方創生加速化事業】

##### ②サーフィン環境の向上

- ・ロングビーチ・ロコエリア等の拠点整備（屋外シャワーの設置、既存トイレの整備改修）
- ・（仮称）弥八島海浜公園整備、避難路の整備【平成 28 年度実施 地方創生加速化事業】
- ・（仮称）弥八島海浜公園活用に係るプロポーザル方式による募集【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】
- ・サーフスポットへの無線LAN設置

##### ③サーフタウンのイメージ発信強化

- ・プロ野球公式戦のゲームスポンサーとなり、サーフタウンのプロモーションを実施  
【平成 28 年度実施 地方創生加速化事業】  
【平成 29・30 年度実施 地方創生推進事業】

##### ④ビッグイベントの誘致

- ・全日本サーフィン選手権大会等の大会を支援し、世界大会を誘致  
【平成 28 年度実施 地方創生加速化事業】

##### ⑤地域コミュニティとの合意形成

- ・地域住民（団体）・ショップ等へのヒアリング調査の実施

## ⑥移住希望者への居住・雇用の情報提供及び環境整備等

- ・たはら暮らし定住・移住サポーター制度の創設・運用【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】
- ・定住・移住相談窓口の設置
- ・移住サーファーのインタビューを掲載した冊子作成・相談フェアの開催  
【平成28年度実施 地方創生加速化事業】【平成29・30年度実施 地方創生推進事業】【平成31年度実施 地方創生推進事業（予定）】
- ・赤羽根地域の空き家活用の基礎調査、スローライフ住宅の調査  
【平成29年度実施 地方創生推進事業】

## ＜地域再生計画＞

### サーフタウン構想実現（サーフィン×観光）（平成28年度～平成30年度）

サーフィンの活用と観光施策をさらに連動させ、市全体でサーファー・観光客等を受け入れる体制づくり・環境整備を図る。

- ②サーフィン環境の向上
- ③サーフタウンのイメージ発信強化
- ④ビッグイベントの誘致
- ⑥移住希望者への居住・雇用の情報提供及び環境整備等
  - ・居住・雇用の情報提供等  
定住・移住ウェルカムガイド等の作成、相談フェアの開催【平成29・30年度実施 地方創生推進事業】  
空き家活用の基礎調査【平成29年度実施 地方創生推進事業】  
スローライフ住宅の調査【平成29年度実施 地方創生推進事業】  
空き家・空き地パンフレットの作成【平成30年度実施 地方創生推進事業】
  - ・サーフィンの活用と観光施策の連動  
観光まちづくり大学【平成28・29・30年度実施 地方創生推進事業】  
観光拠点の魅力や利便性の向上
  - ・他の観光資源の活用  
プロ野球公式戦のゲームスポンサーとなり、サーフタウンのプロモーションを実施  
【平成29・30年度実施 地方創生推進事業】
  - ・幹線道路の整備促進  
幹線アクセス向上交通量調査【平成28・29年度実施 地方創生推進事業】



移住希望者への居住・雇用の情報提供



移住サーファーのインタビュー等を掲載した冊子

## 〈地域再生計画〉

### 渥美半島の波に乗る「たはら暮らし」創生プロジェクト（平成 31 年度～2021 年度）

「たはら暮らし定住・移住サポーター制度」を創設し、移住者に対する地域の受け入れ態勢を構築するとともに、交流人口拡大のために観光資源発掘調査や体験型観光を軸においた計画策定、人材発掘を行い、雇用・就労機会創出のために 6 次産業化推進の基盤整備を行う。

#### ・定住・移住の促進

たはら暮らし定住・移住サポーター制度の創設・運用開始【平成 31 年度実施 地方創生推進事業(予定)】  
(定住・移住パンフレット、空き家活用パンフレット作成等、定住・移住相談フェア参加等)

#### ・交流人口の拡大

体験型観光を軸においた観光に関する計画策定【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

たはら巡り一な【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

(体験型観光博覧会／渥美半島を暮らす旅をコンセプトに体験型観光プログラムを集約した冊子等を作成し期間フェアを開催)

田原市観光地域づくり実践塾【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

(体験型観光プログラム開発のために、地域の人材発掘を行う)

(仮称) 弥八島海浜公園活用のプロポーザル型公募【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

#### ・田原市の地域ブランディングの確立

観光資源発掘調査【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

(地域資源現状把握・分析、購買・宿泊データ等分析)

#### ・農畜産物販路拡大による雇用・就労機会の創出

渥美半島たはらブランド等農畜産物販路拡大【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】

(渥美半島たはらブランドのバイヤーズガイド作成、都市圏での田原市フェア開催、事業者育成のためのブランド会議等を実施)

田原めっくんはうす 6 次産業加工施設運営戦略策定【平成 31 年度実施 地方創生推進事業（予定）】



(仮称) 弥八島海浜公園



都市圏での田原市フェア開催

## 2-3 空き家活用推進

◆増加する空き家を有効利用することで定住人口の誘導を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
空き家・空き地バンク活用によるマッチング件数	2件	5件/年

資料：市建築課調べ

### 【具体的事業】

#### ○空き家・空き地バンク活性化事業

空き家・空き地バンク制度を広報やホームページなどの情報ツールを活用し、わかりやすく紹介する。

既存の空き家・空き地バンク制度の登録物件数を増やすとともに、家主や地域と居住希望者とのマッチングを強化する。

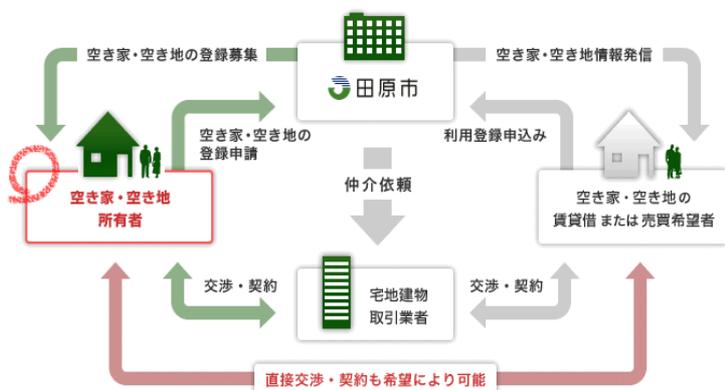
#### ○空き家に関するデータベース整備

#### ○空き家改修支援事業の充実

- ・空き家の所有者又は利用者に対する建物等の改修支援
- ・市外転入者に対する支援の充実

#### ○空家等対策計画の実施

空き家等の適切な管理・発生の抑制など生活環境の保全を図るとともに、有効活用を促進し地域活力の維持・向上を図る。



田原市空き地・空き家バンクのイメージ図



空き家活用の事例



空き家を活用して移住されたサーファー

## 2-4 (3-4) ふるさと学習の充実

◆小中学生に対し、学校教育における「ふるさと学習」「職場体験」などの地域と協働して行う事業を通し、田原市への誇りと愛着の醸成を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
ふるさと学習実施学校数	全小中学校	全小中学校

### 【具体的事業】

#### ○共育（ともいく）推進事業

「地域の大人から子どもが学ぶ」「教えることにより大人も学ぶ」という2つの視点をもって事業を行うことにより、地域教育力の向上を図る。

学校・家庭・地域が連携して子どもたちの生きる力や豊かな心を育てることにより、将来の田原市を担う人材育成につなげる。

子どもや地域等が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みづくりや地域活性化につなげる取組を行う。

- ・地域の方から仕事や職業観などを学ぶ、夢 Worker リンク事業
- ・地域の防災について学び、避難所宿泊体験を行う、防災キャンプ事業

#### ○学校を核とした地域魅力化事業「学校・地域「創」プロジェクト事業」

学校を地域づくりの核として、特色ある教育を推進し、地域を活性化することを目的として実施する。子どもたちが再発見した地域の魅力を活用した提案や活動を地域につなげ、地域の大人と一緒に実現していくことにより、地域全体の活性化を図る。



和菓子職人の仕事を学ぶ(夢 Worker リンク) 田原中学校



農家の方から菊づくりを学ぶ 泉小学校



初期消火訓練（防災キャンプ） 田原東部小学校



せつけんなどの商品開発(創プロジェクト) 福江中学校

# 3

## 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現

### (具体的施策)

#### 3-1 結婚・出産支援

- ◆未婚化、晩婚化の流れを変えるため、人材確保と地域定着を希望する多様な職種、事業所が協力した婚活イベントの開催やマッチングの場の提供を行う。
- ◆滞在型農業体験の場にて独身男女の交流の場を提供することで、結婚による定住促進を図る。
- ◆出産年齢が上昇していく中で、妊娠・出産に関する正しい知識を身につけるための意識啓発や健康教育を行う。
- ◆不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。

重要業績評価指標 (KPI)	現在値 (H26)	目標値 (H31)
カップル成立組数※ (累計)	28 組	150 組/5 カ年

※市社会福祉協議会ふれあい相談センターが実施する婚活イベント等

#### 【具体的事業】

##### ○婚活イベント開催やマッチングの場の提供

- ・結婚相談所「ふれあい相談センター」運営
- ・婚活イベント、独身者向け意識啓発セミナー、お見合い、結婚相談、親向け結婚支援イベントの実施
- ・結婚支援メールサービス「恋サポメール」によるイベント開催情報のタイムリーな配信
- ・市民が企画・提案する婚活イベント等の支援
- ・結婚支援東三河五市連携プロジェクト「ハピクル」による婚活情報やイベント企画の連携

##### ○妊娠・出産・子育て総合相談窓口の設置

##### ○不妊治療に要する費用の助成

不妊検査、不妊治療を受けた夫婦に対して、経済的な負担を軽減することにより、少子化対策の推進を図る。



婚活イベント「クリスマスパーティー」

## 3-2 医療体制の充実（産婦人科・小児科）

◆産婦人科や小児科をはじめとする医師確保や地域医療の充実を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H27）	目標値（H31）
公的病院における産婦人科・小児科の医師確保	産婦人科 2人/小児科 2人	維持

### 【具体的事業】

#### ○医療従事者確保対策、女性医療従事者勤務環境改善推進

公的病院や地域診療所の医療従事者（産婦人科医・小児科医・助産師・看護師等）の就労や勤務環境の改善を支援し、分娩機能の維持や乳幼児の診療機能の維持・充実を図る。

#### ○医療機関等の後継者確保・新規開業の促進

診療所の開業支援や承継・支援等により診療機能の維持を目指し、地域医療の充実を図る。

#### ○病院・診療所・行政の連携強化

妊娠期から出産・育児まで切れ目ない支援のために、病院・診療所・行政の連携を強化する。

#### ○公的病院運営支援、救急医療の確保、医療機器等整備支援

公的病院が地域の中核病院として、急性期から療養期までの総合的な機能を果たせるよう、医療機器整備や救急医療施設運営、医療従事者の確保等に対し支援を行う。

#### ○医師確保修学資金貸与

市内の公的医療機関に医師として従事する意志のある者に対し、修学金を貸与して修学を援助し、地域医療における医師の確保を図る。



必要となる医師確保（小児科医）



医療従事者の確保

### 3-3 子育て支援

- ◆働きながら子育てしやすい環境を整備することで、家庭と仕事の両立を後押しする。
- ◆時間外保育や休日保育など、保護者の多様な働き方に対応した保育サービスを推進する。
- ◆児童クラブ・放課後子ども教室の開催のない土日、祝日の児童の居場所を必要とする家庭の需要を集約的、効率的に充足し、子育て支援を図る。
- ◆妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制を整える。
- ◆ワーク・ライフ・バランスの普及を推進し、子育てと仕事の両立を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
休日保育実施園数	0 園	1 園

#### 【具体的事業】

#### ○子どもの発育に適した規模（児童数）確保のための保育園配置の適正化

#### ○ニーズに応じた保育時間の延長の検討や休日保育の提供

保護者が日曜日など休みの日に、家庭保育が困難となる児童に対し休日保育を実施する。

フルタイム就労を想定した保育標準時間（11 時間）対応実施園の増加を検討する。

#### ○児童クラブ・放課後子ども教室の充実

放課後に児童が安心安全に過ごせる場所として、小学校の教室や市民館等を利用した児童クラブ又は放課後子ども教室を設置し、多様な体験・交流活動などを通して児童の健全な育成を図る。

児童クラブ及び放課後子ども教室の指導員等の研修を充実するとともに、必要な人員を確保して待機児童ゼロを維持する。

土日・祝日の児童クラブ等の利用ニーズを把握し、適切な場所に拠点開設を目指す。

#### ○一時預かり事業の実施園の拡充

#### ○病児・病後児保育事業の設置

病気や病後の子どもを、保護者が家庭で保育できない場合に預かる事業について検討する。

#### ○地域子育て支援拠点事業の拡充

地域の身近なところで、気軽に親子が交流でき、子育て相談ができる場所を増やす。



地域子育て支援センター



児童クラブ

## ○子育て世代包括支援センター（利用者支援事業）の整備

妊娠期から子育て期にわたるまでの支援について、ママサポーターと子育てコンシェルジュを配置した拠点「子育て世代包括支援センター」を設置するとともに、「子育て支援センター」の機能強化を図り、双方の連携を密にした一体的な体制づくりを検討する。

## ○産後ケア事業の導入

退院直後の母子に対して、宿泊型による心身のケアや育児サポートを渥美病院、ふたば助産院（豊橋市）等の産科機関に委託し、母子の心身の回復を図るとともに安定した育児ができるよう支援する。

## ○ワーク・ライフ・バランスの推進

民間企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進手法を検討する。



妊婦さんのためのおっぱいクラス



ブックスタート  
(絵本を使ったコミュニケーション)



赤ちゃんサロン



保育園の子どもたち



こんにちは妊婦さん訪問（妊婦さんと保健師）



産後ケア事業（渥美病院助産師）

### 3-4 ふるさと学習の充実【再掲】

◆小中学生に対し、学校教育における「ふるさと学習」「職場体験」などの地域と協働して行う事業を通し、田原市への誇りと愛着の醸成を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
ふるさと学習実施学校数	全小中学校	全小中学校

#### 【具体的事業】

##### ○共育（ともいく）推進事業

「地域の大人から子どもが学ぶ」「教えることにより大人も学ぶ」という2つの視点をもって事業を行うことにより、地域教育力の向上を図る。

学校・家庭・地域が連携して子どもたちの生きる力や豊かな心を育てることにより、将来の田原市を担う人材育成につなげる。

子どもや地域等が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みづくりや地域活性化につなげる取組を行う。

- ・地域の方から仕事や職業観などを学ぶ、夢 Worker リンク事業
- ・地域の防災について学び、避難所宿泊体験を行う、防災キャンプ事業

##### ○学校を核とした地域魅力化事業「学校・地域「創」プロジェクト事業」

学校を地域づくりの核として、特色ある教育を推進し、地域を活性化することを目的として実施する。子どもたちが再発見した地域の魅力を活用した提案や活動を地域につなげ、地域の大人と一緒に実現していくことにより、地域全体の活性化を図る。



和菓子職人の仕事を学ぶ(夢 Worker リンク) 田原中学校



農家の方から菊づくりを学ぶ 泉小学校



初期消火訓練（防災キャンプ） 田原東部小学校



せっけんなどの商品開発(創プロジェクト) 福江中学校

## （具体的施策）

### 4-1 市街地の活性化

- ◆市街地の核となる商業施設の整備や、まちなかへの回遊促進に取り組むことにより賑わいの創出を図る。
- ◆田原市の魅力である花・緑などの豊かな自然と、地域固有の伝統文化・歴史などの地域資源を活かした、「田原らしさ」を感じることでできる特色のあるまちづくりを推進する。
- ◆より多くの人々で賑わう「歩いて楽しいまち」を目指し、中心市街地の活性化を進める。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H27）	目標値（H32）
歩行者・自転車通行量	1,769人	2,100人

※調査地点：①田原駅前通り線、②はなとき通り、③田原城跡付近の3地点の合計値

※調査方法：調査断面を両方向に通過する歩行者＋自転車通行量（人数）を目測で計測

※調査時間：平日及び休日の9時から20時（11時間）、平日・休日の平均値を算定

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H27）	目標値（H32）
中心市街地の居住人口	2,941人	3,040人

※中心市街地の範囲：田原市中心市街地活性化基本計画の中心市街地の区域

※調査数値：国勢調査による人口（住民基本台帳の推移から国勢調査ベースの人口を推計）

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H22～H26）	目標値（H28～H32）
新規出店・開設施設数	17件	25件

※中心市街地の範囲：田原市中心市街地活性化基本計画の中心市街地の区域

※調査方法：人材育成、創業支援、空き地・空き店舗活用等の取組を通じて田原市商工会、田原市が新規出店及び施設立地状況を常時確認し、年度ごとに集計

## 【具体的事業】

### ○田原市街地の活性化

田原市街地まちづくりビジョン・田原市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地を中心に活性化を図る。

- ・市街地の再生整備
- ・三河田原駅周辺整備

- ・子育て施設整備
- ・散策路整備
- ・景観形成事業
- ・まちなか賑わい創出イベントの実施
- ・三河田原駅南ホテル誘致事業



三河田原駅南ホテル誘致事業



三河田原駅周辺整備・子育て施設整備

## ○福江市街地の活性化

福江地区まちづくりビジョンに基づき、福江市街地の活性化を図る。

- ・市街地の再生整備
- ・福江公園整備
- ・散策路整備
- ・景観形成事業



福江市街地（福江市民館周辺）



景観形成事業（つるし飾りロード）

## ○赤羽根市街地の活性化

赤羽根地区まちづくりビジョンに基づき、赤羽根市街地の活性化を図る。

- ・市街地の再生整備
- ・土地区画整理事業



赤羽根市街地



赤羽根市街地（赤羽根小学校周辺）

## 4-2 幹線アクセス向上

- ◆東西軸幹線である国道42号及び国道259号から高速道路交通ネットワーク網へのアクセスの向上を図るため、既設交差点の交通量等調査、信号制御調査等を行い、改善することにより市内通行時間の短縮を目指す。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H27）	目標値（H31）
市内通行時間※	—	10分短縮

※半島先端部から市境までの所要通行時間

### 【具体的事業】

- 交通量等調査・信号制御調査【平成28・29年度実施 地方創生推進事業】
- 損失時間の要因を分析し、可能な改善対策の実行

### 【信号交差点の改善】

（箇所数）

信号交差点	国道42号	国道259号	計
既設信号数	24	43	67
通常制御	19	36	55
車両感应制御	2	5	7
歩行者押しボタン式	3	2	5
通常制御信号数	19	36	55
車両感应制御候補	11	20	31
改善の必要性なし	8	16	24

※通常制御信号（車両感应制御候補）31箇所について交通量調査を実施済



交通量調査（和地町）



交通量調査（野田町）

### 4-3 公共交通ネットワーク確保・維持

◆各公共交通の役割分担・連携の明確化を図り、公共交通ネットワークの確保・維持を推進する。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H23）	目標値（H31）
市内公共交通利用者数	211万人	211万人

#### 【具体的事業】

##### ○路線バス等の支援

本市の骨格的な市内外への移動手段である幹線乗合交通（渥美線、伊良湖本線・伊良湖支線、伊勢湾フェリー等）の運行、利用推進及び利便性向上のための取組を支援する。

地域・市・運行事業者など関係者が連携・協働した利用推進活動に取り組み、運行を確保する。

##### ○田原市ぐるりんバスの運行

幹線乗合交通を補う形で田原市ぐるりんバスを運行し、市民の移動を支援する。

待合・乗継環境の整備に取り組み、利用者の利便性の向上を図る。

地域・市・運行事業者など関係者が連携・協働した利用推進及び運行内容の改善等に取り組み、運行を確保する。



公共交通ネットワーク図(平成 30 年 10 月現在)

## 4-4 戦略的なシティセールス

- ◆首都圏におけるシティセールス活動を一層推進するため、田原市東京事務所を設置する。
- ◆「サーフタウン」として魅力的なまちづくりに取り組み、サーフィンを通じた地域の魅力向上を図る。
- ◆田原市の魅力や価値を認識・再発見できる機会を設け、市民全員で市内外へ情報発信の強化、魅力価値の発掘（認識）・磨きを推進する。
- ◆東三河を始めとする近隣市町村・愛知県等との連携も図りながら、交流人口の拡大、産業振興等につなげる。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
首都圏における事務所数	0	1

### 【具体的事業】

#### ○首都圏活動推進事業

観光・物産振興、産業誘致を強化するため、首都圏でのシティセールス活動を推進する。また2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う、合宿誘致や外国人観光誘客などの活動を行う。

- ・観光・物産振興、産業誘致などシティセールス活動
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う合宿誘致活動

#### ○「ほの国」東三河ブランド戦略の推進

より訴求力の高いブランドイメージの確立に向け、地域全体で東三河の魅力に対する理解を深めながら、発信すべきセールスポイントの相互共有やターゲットを明確にした情報発信を推進する。

- ・東三河のブランドイメージ確立と相互共有
- ・ターゲットを明確にした情報発信

#### ○東三河魅力発信事業

東三河の点在する魅力的な資源を効果的に発信できるツールを作成する。

- ・東三河の観光PRポスターの作成・掲載
- ・東三河観光映像の作成及び放映
- ・東三河観光紹介アプリの活用

#### ○東三河アンテナショップ事業

東三河の特産品等の現状を認識するとともに、現地の消費者ニーズ等を的確に捉え、アンテナショップのモデル構築、実証実験を行う。

- ・アンテナショップの実現可能性調査
- ・アンテナショップの実証実験



ナゴヤドームでのシティセールス

## 4-5 医療体制の充実（地域医療）

- ◆病院や診療所等の関係機関・団体と連携を強化し、医師確保や地域医療の充実を図る。とりわけ、赤羽根地域における医療体制を強化する。

重要業績評価指標（K P I）	現在値 (H27)	目標値 (H31)
市内における診療所数	26 施設	26 施設

### 【具体的事業】

#### ○医療機関等の後継者確保・新規開業の促進

診療所の開業支援や承継・支援等により診療機能の維持を目指し、地域医療の充実を図る。

#### ○病院・診療所・行政の連携強化

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、在宅医療・訪問看護・介護までの一連のサービス提供体制の充実と病診連携を強化する。

#### ○公的病院運営支援、救急医療や医療従事者の確保、医療機器等の整備支援

公的病院が地域の中核病院として、急性期から療養期までの総合的な機能を果たせるよう、医療機器整備や救急医療施設運営、医療従事者の確保等に対し支援を行う。

#### ○医師確保修学資金貸与

市内の公的医療機関に医師として従事する意志のある者に対し、修学金を貸与して修学を援助し、地域医療における医師の確保を図る。

#### ○公立診療所の運営

赤羽根福祉センター内に公設民営の田原市赤羽根診療所を開設・運営し、地域医療を確保する。



公的病院運営支援



田原市赤羽根診療所

## 4-6 健康都市推進

- ◆健康都市事業の一環として、健康づくりの環境を整えることにより、市民の健康寿命の延伸、医療費・介護費の抑制を図る。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
たはら健康マイレージ達成者数（累計）	— 人	1,000 人/5 カ年

### 【具体的事業】

#### ○たはら健康マイレージの推進【平成 27 年度実施 地方創生先行型事業】

たはら健康マイレージの推進により、普段の生活から健康づくりのための目標を立てて取り組むきっかけをつくり、健康診断の受診行動に結びつけていく。また、地域のイベントや講座への参加を促すきっかけとなることで、健康に無関心な層にも関心を持ってもらうなど、健康づくりの環境整備を図る。

#### ○ウォーキングの推進

ウォーキングイベントの開催やノルディックウォーキング、ウォーキングコースの普及などを通して、ウォーキングの定着化を図る。

- ・ウォーキング冊子作成【平成 27 年度実施 地方創生先行型事業】
- ・ノルディックウォーキング講習会等開催・ポール購入【平成 27 年度実施 地方創生先行型事業】
- ・地域と協働したウォーキングイベントの開催
- ・ウォーキングキャンペーン 2019

#### ○田原弁版ラジオ体操第一の普及推進

気軽にラジオ体操を楽しみ、生活の中に取り入れていただくため、各種健康講座や運動の教室、市内のイベント等で田原弁版ラジオ体操第一を普及する。

- ・田原弁版ラジオ体操第一CDの配布と啓発

#### ○田原市の農畜水産物を活用したレシピの普及

食生活改善推進員とベジエール渥美との共同で考案した「野菜たっぷりヘルシーレシピ」等の普及を図り、田原市の農畜水産物を食材に活用し健康になることを目指す。

- ・健康レシピ集作成【平成 27 年度実施 地方創生先行型事業】

#### ○健幸アンバサダーの養成

人および都市の「健幸」を達成するために必要かつ正確な情報を、健康づくりに無関心な層を含めた多数の地域住民に「心に届く情報」を伝え拡散する役割として「健幸アンバサダー」を養成する。



田原弁版ラジオ体操第一CD



健康レシピ（野菜たっぷりヘルシーレシピ）

## 4-7 地域包括ケアシステムの構築

- ◆住み慣れた地域（生活圏域）で自分らしく生活できるように「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つの要素を包括的・継続的・一体的に提供するために、さらなる充実した地域包括ケア体制の構築に努める。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
地域包括ケアシステムの構築	—	市内全域

### 【具体的事業】

#### ○地域包括ケア推進協議会及び専門部会の開催

高齢者が要介護状態になっても自分らしい生活を送ることができるよう、地域包括ケア推進協議会を設置し、医療介護連携推進・認知症支援・生活支援の各部会にて課題の検討や政策立案等を行い地域包括ケアシステムの構築を図る。

#### ○介護予防活動の推進

要支援・要介護状態になることを防ぐため、身近で気軽に参加できる体操教室等の介護予防活動を推進するとともに、介護予防事業等の担い手を養成する。

#### ○生活支援体制の整備

地域での助け合い活動や高齢者の社会参加を推進するため、生活支援コーディネーターが地域の関係者と連携して地域資源の把握等に努める。また、地域にあるとよいものや自分たちでできることを話し合うため、定期的な意見交換及び連携の場（協議体）を設置する。

#### ○在宅医療・介護の提供体制の整備

切れ目ない在宅医療・介護の提供体制の構築を図るため、地域の医療や介護資源の把握をはじめ、連携時における課題の把握や対応策の検討を行い、多職種による連携を推進する。

#### ○認知症施策の推進

認知症にやさしい地域づくりを進めるため、認知症初期集中支援チームの配置による早期診断・早期対応に向けた相談・訪問等を実施する。また、市内3つの高齢者支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症サポーター養成講座の実施や認知症に対する正しい知識の普及等を行う。

#### ○市民への普及啓発

超高齢社会が抱える様々な課題を市民と共有するとともに、自助と互助の必要性などを周知するため、広報でのPRや講演会、出前講座等を通じて普及・啓発に努める。



介護予防教室

## 4-8 広域連携による持続可能な地域づくり

- ◆東三河広域連合により東三河の8市町村が一体となった取組を充実させ、住民サービスの維持・向上を図るとともに、広域的な観点から、より効果的・効率的な行政運営を推進する。
- ◆豊橋市と田原市が共同で広域ごみ処理施設を整備し、ごみの処理の広域化を推進する。

重要業績評価指標（KPI）	現在値（H26）	目標値（H31）
東三河広域連合による共同処理事務本格実施数	0事業	8事業

### 【具体的事業】

#### ○東三河広域連合共同処理事務

- ・介護保険事業
- ・消費生活相談等に関する事務
- ・滞納整理事務
- ・障害支援区分認定審査会の設置及び運営に関する事務
- ・社会福祉法人の認定等に関する事務
- ・航空写真撮影等に関する事務
- ・旅券事務

#### ○広域ごみ処理施設整備事業

豊橋田原ごみ処理広域化計画に基づき、広域ごみ処理施設を整備し、ごみの処理の広域化を推進する。

### 【東三河広域連合 組織概要】

名 称/東三河広域連合  
 法律上の位置づけ/特別地方公共団体  
 設 立 年 月 日/平成27年1月30日  
 構 成 市 町 村/豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市  
 田原市・設楽町・東栄町・豊根村

